

心の歌「花の街」

本時の目標

詩や曲の背景を理解し、そこにこめられた思いを生かして歌おう。

「花の街」はどんな曲なのだろうか？ポイントをおさえよう。

○日本を明るく、元気にする曲ために作曲された。

戦後の混沌とした世の中で、「日本を明るく、元気にする曲」ということで作られた曲です。作詞者の江間章子は戦争が終わり、瓦礫の山と一面の焦土に覆われた地で、いつかこの街がハイビスカスなどの花が浮かぶ美しい花の街になればいいなという願いを込めて作詞したそうです。この曲には作者の平和な世界への願いが込められているのですね。60年以上経った今でも歌い継がれている曲です。ちなみに作曲者の團伊玖磨は「川口市民歌」の作曲者でもあります。モダンで甘美な音楽に定評のある作曲家です。伴奏の響きに注目してみてください。

【曲を聞いてみよう！】

教育芸術社 HP を参考にしてください。歌える人は歌ってみよう！

【空欄に当てはまる語句や記号を埋めよう】

作詞【①】作曲【②】
拍子【③】拍子【④】速度【④】♩＝

【使われている音楽記号】

音楽記号	読み方	意味	音楽記号	読み方	長さ
<i>Crescendo</i>	⑤	⑥		⑬	1 拍
	⑦	⑧		⑭	⑮ 拍
	⑨	⑩		⑯	⑰ 拍

【曲についてまとめてみよう！】

⑱「輪になって」の部分では、2度同じ歌詞を繰り返し歌っています。ここでは音の高さはどう変化しているのでしょうか。当てはまる方に○をつけましょう。またそうになっている理由を考えてみましょう。

輪になって～♪の2回目は音が 高く 低く なっている。

【理由】

【歌詞を書き写して覚えよう】

	歌詞
1 番	①9
2 番	②0
3 番	②1

【歌うときの姿勢や呼吸についてまとめてみよう】

教科書 p 15～16 「My Voice！」を参考にしよう。

②② 【姿勢と呼吸】

②② 【息の流れ】

②② 【響かせ方】
